

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2007-2010
課題番号：19320096
研究課題名（和文）ヘレニズム時代エジプト領域部における文化交流と二言語併用社会の研究

研究課題名（英文）Acculturation and Bilingualism in Hellenistic Egypt

研究代表者

周藤芳幸（SUTO Yoshiyuki）
名古屋大学・文学研究科・教授
研究者番号：70252202

研究代表者の専門分野：人文学
科研費の分科・細目：史学・史学一般
キーワード：文化交流史

1. 研究計画の概要

本研究は、中エジプトのアコリス遺跡の南に位置するザウリエト・スルタン古代採石場に残されているギリシア語と在地エジプト語（デモティック）を併記するグラフィティの全容を解明するとともに、それを手がかりとしてヘレニズム時代のエジプトにおける二言語併用社会の諸相を、文化交流史の視点から明らかにすることを意図している。ヘレニズム時代のエジプト研究は、これまでもっぱら出土ギリシア語パピルス文書の解読に依拠して行われてきたが、そのエジプト固有の史料状況が該期の社会を多角的な視点から検討することを妨げてきたのは、否定しがたい事実である。ザウリエト・スルタン古代採石場の膨大なグラフィティは、未公開の一次史料であるというだけでも貴重な存在であるが、その多くがギリシア語と在地エジプト語によって併記されている状況からは、石灰岩の採石という経済活動をめぐる在地社会のダイナミズムを読み解くことが可能となると予想される。本研究は、現地調査にもとづくその網羅的な研究を通じて、国際的なレベルでヘレニズム研究に貢献することを企図するものである。

2. 研究の進捗状況

これまでに、ザウリエト・スルタン古代採石場遺跡において3シーズンにわたって現地調査を行い、これまで学界にまったく知られていなかった膨大な数のグラフィティについて登録、実測、写真撮影、転写を行った結果、以下の点が明らかになった。

（1）この採石場はプトレマイオス2世末年から4世初年にかけて操業していた。

（2）この間に、採石場で作業の管理にあたって用いられた言語（文字）は、エジプト語（デモティック）からギリシア語へと漸進的に推移した。同時に、初期にはデモティックとギリシア語が併記されていたのに対して、後にはギリシア語だけで記録が行われるようになった。

（3）グラフィティに現れる人名の分析からは、在地のエジプト人だけではなく、ギリシア系の入植者、ユダヤ人なども採石に関与していた。

（4）採石場における文字を通じた作業の煩瑣な管理は、同時代のプトレマイオス朝の行政システムと密接に関係していた。

これらの研究成果については、毎年度末に開催しているアコリス考古学プロジェクト公開研究会で報告し、その内容は概報のなかに英文で掲載している。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
グラフィティの数が予想をはるかに上回っていたこと、また横穴ギャラリー内での調査が困難を極めたことにより、計画以上の進展は達成できなかったが、貴重な史料を学界の共有財産とするための作業は着実に行われた。

4. 今後の研究の推進方策

これまで以上に国際的な連携を深めるため、2010年8月にジュネーブで行われる国際パピルス学会で報告を行い、最終的なまとめに向けての作業を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

1. Yoshiyuki SUTO, “Thebes and Middle Egypt in the Hellenistic Period: An Archaeological View.” *Orient*, 43, 2008, 93-106
2. Yoshiyuki SUTO, and R. Takahashi, “Greek and Demotic Graffiti in Zawiet Sultan,” in *Preliminary Report Akoris 2007*, Tsukuba 2008, 21-22.
3. Yoshiyuki SUTO, and R. Takahashi, “Epigraphic Survey in the Galleries”, in *Preliminary Report Akoris 2008*, Tsukuba 2009, 19-21.
4. 周藤芳幸「永遠なる叡智の結集：古代アレクサンドリア図書館」『アーカイヴズ』50, 2007, 42-51
5. 周藤芳幸「文字の力と古代ギリシア社会」『西洋古典学研究』58, 2010, 115-117

[学会発表] (計 2 件)

1. Yoshiyuki SUTO, “Performative Statues: Image and Public Commemoration in Classical Athens.” Japan-Korea-China Symposium on the Ancient Mediterranean World 2007, 22nd September 2007.
2. 周藤芳幸・高橋亮介「プトレマイオス朝エジプトの採石場遺跡と二言語併用グラフィティ」日本西洋史学会第 58 回大会、島根大学、2008 年 5 月 11 日

[図書] (計 1 件)

1. 竹中克行・山辺規子・周藤芳幸 (編)『地中海ヨーロッパ』朝倉書店 2010、480 頁